

2017年2月8日

日本基督教団関東教区諸教会、伝道所様

日本基督教団関東教区  
総会議長 秋山 徹  
統括主任 飯塚拓也

## 「東日本大震災」被災教会・被災地を覚える主日と記念礼拝のご案内

主のみ名を賛美いたします。

2011年3月11日(金)午後2時46分発生の「東日本大震災」より、今年の3月11日(土)をもって六年を迎えようとしています。

私たちにとって、この「東日本大震災から六年」はどのような意味を持つのでしょうか。

関東教区においては、昨年7月17日(日)に水戸中央教会が献堂式を迎え、関東教区として教会の被災からの復興に一つのくぎりがつきました。震災発生以降、関東教区の被災教会の歩みを主が導いてくださったことを覚えたいと思います。

東北・奥羽に目を向けると、なお大地震・大津波の爪痕は深く残り、六年を迎えてもなお再建の道が見いだせずいらっしゃる方々がおられることを覚えます。そして、年月が経つに従って、被災された方々の再建では経済的な格差による違いが浮きぼりとなる現実を目の当たりにするのです。

東京電力福島第一原子力発電所の大事故による放射能汚染の問題は、事故の調査が進むにつれて解決の困難さを明らかにしています。事故当初に予想されていた以上の被害であり、事故からの回復は全く先を見通せないことがこの一年間に明らかにされました。被ばくによる健康不安は増し、子どもたちの甲状腺異常が報告されています。

私たちは、「東日本大震災」被災教会・被災地を覚える主日と記念礼拝を通して、「東日本大震災から六年」をしっかりと受け止め、主の執り成しと導きを祈りたいと思います。主に聞き、主に従う中で、被災の出来事を風化させることなく、復興の課題を共にさせていただきたいと願います。

「東日本大震災」被災六周年にあたり、関東教区では、以下のように覚える主日と記念礼拝を持つこととなりました。ぜひ、教区内諸教会伝道所、関係学校・団体の皆さまに、祈りを共にしていただきたくここにご案内申し上げます。

- ・『東日本大震災』被災教会・被災地を覚える主日は3月12日(日)です  
この日の礼拝において被災教会と被災地を覚え、震災からの復興を祈りましょう。  
そして、可能であれば、礼拝献金を「関東教区東日本大震災被災支援募金」にお献げください。
- ・記念礼拝は、3月11日(土)午後1時30分～水戸中央教会にて開催します  
記念礼拝の説教は、秋山徹関東教区議長です。  
教団や他教区へも参加をご案内しています。ぜひ、ご出席をお願いいたします。

なお、『東日本大震災』被災教会・被災地を覚える主日のための「祈り文」は、現在作成中です。後日、「リタニー」と「代表祈祷」を送付いたしますのでしばらくお待ちください。主の祝福が皆様の上に豊かにありますように。お祈りいたします。

主にありて